

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部現代ビジネス学科 舩井ゼミナール

宮城県
活動期間：3年

ビジネススキルで食育推進 食べると学ぶが由来のサイト「ガクタベ」で
食育情報を一元化し見える化 楽しみながら食育情報に触れられる仕組みづくり

地域の健康を支え、 食育を推進する情報ポータルサイトを目指して

宮城学院女子大学現代ビジネス学部舩井ゼミナールでは、デジタル技術を活用した地域課題の解決方法を学んでいます。今日、多くの人々がインターネットに簡単にアクセスできるようになり、WebサイトやSNSを通じて情報を得ることが一般的な時代背景の中で、地域に密着した食育や健康づくりの情報を発信するため、「ガクタベ」というWebサイトを立ち上げました。このサイトは、地域の方々が信頼できる情報源として活用できる「食育・健康ポータルサイト」として、継続的に更新を行い、地域のニーズに合わせた情報を提供しています。私たちは、このサイトを通じて地域課題の解決に貢献し、より多くの人々に食と健康に関する知識を広めていきたいと考えています。



ゼミの様子



ガクタベトップページ

小学校とコラボレーションによるウェブサイト更新

「ガクタベ」の活用促進と情報のアップデートを目的に、定期的に東松島市の小学校と連携してワークショップを開催しています。ワークショップでは、児童が考えた情報を基に学生がクイズなどを作成し、公開しています。これにより、児童の「ガクタベ」への関心を高めるとともに、児童とその保護者が情報を収集する習慣を育むことを目指しています。また、市が発信する食育に関する情報をリンクし、「子どもから大人まで楽しく学び、役立つ」サイトとして設計しています。



ワークショップの様子



クイズページのお披露目

地域の食育イベントに出展し、 Webサイトの体験会を実施

「ガクタベ」をより多くの地域の方に知ってもらうために、私たちは毎年、東松島市で開催される「ひがしまつしま食ベメッセ」にてサイト体験会を実施しています。この体験会では、サイトの利用方法を紹介するだけでなく、クイズや塩分チェック、イレブンチェックなどのコンテンツを提供し、参加者にサイトの有用性を実感してもらっています。さらに、体験会の一環として食と健康に関するアンケートを実施し、地域住民の健康促進や食育への関心を高めるために必要な情報を収集・分析しています。この活動を通じて、地域の皆さまに役立つ情報を提供し、食と健康に対する意識を深めてもらうことを目指しています。



児童とのコラボクイズを体験



学生がレクチャーしながら
コンテンツを体験



「地域課題をデジタルの力で解決」というキーワードを掲げて、私たちの活動はスタートしました。一昨年度からは小学校とのコラボレーションを開始し、昨年度には地元食材を活かした加工業を営む方々や生産者の方々への取材も行いました。これらの取組を基に、サイトのコンテンツを充実させることができ、活動当初に比べて「地域と作る、地域のための食と健康のポータルサイト」として成長していることを実感しています。しかし、まだまだ改善すべき点も多くあります。今回の受賞を励みに、さらに地域の方々に活用していただけるサイトにするべく、引き続き活動を進めていきます。

舩井ゼミナール 一同